

インプラント周囲組織・表面構造学特論

Advanced Course of Peri-implant Tissue and Implant Surface Structure

キーワード

- ① インプラント周囲組織の構造と特性
- ② インプラント体表面構造ならびに加工処理法
- ③ インプラント体表面構造とOsseo-integrationの動態
- ④ インプラント周囲炎の診断治療
- ⑤ デブライドメント法

授業概要

インプラント表面構造と周囲組織の関係についての研究は日進月歩であり、最新の研究内容について解説する。特に初期段階での治癒様式(オッセオインテグレーション) およびバイオアクティブサーフェースにおける骨再生促進効果について講義する。また、インプラント周囲炎に罹患した際の、インプラント表面構造に対するデブライドメント法の因果関係について議論し、インプラント周囲炎の治療法の理解を深化させることを目的として開講する。

授業科目の学修目標

インプラント体表面の加工処理を理解した上で、各加工処理におけるOsseo-integrationの様式について理解し、インプラント周囲炎の診断ならびに治療法を理解・実践する。また、大学院生としてエビデンスの背景に基づいたデブライドメント法についての知識や研究方法を構築する。

授業計画

- ① インプラント周囲組織の構造と特性 6コマ 児玉利朗
- ② インプラント体表面構造ならびに加工処理法 6コマ 児玉利朗
- ③ インプラント体表面構造とosseo-integrationの動態 6コマ 児玉利朗
- ④ インプラント周囲炎の診断治療(インプラント体表面構造と細菌感染) 6コマ 児玉利朗
- ⑤ デブライドメント法 6コマ 児玉利朗

教科書および参考書

ITI Treatment Guide1~8

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

インプラント周囲組織・表面構造学特論では、授業科目に応じた基本知識の修得ならびに関連する最新の文献検索とその理解が必要である。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① インプラント周囲組織の構造と特性について細胞レベルまで理解解説できる。
- ② 各種インプラント体表面構造ならびに加工処理法の相違について理解する。
- ③ インプラント体表面構造とOsseo-integrationの動態について組織学的に解説できる。
- ④ インプラント周囲炎の診断治療において最近感染レベルで理解する。
- ⑤ 各種デブライドメント法の利点欠点や特徴について理解している。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	0%	40%	0%	30%	0%

評価の要点

試験は講義内容の理解度ならびに基礎知識を確認する30%、成果発表は関連する文献検索のレベルを評価したうえで治療計画・方法を確認する40%、口頭試問により基礎知識の確認ならびに最新の治療法についてのディスカッション能力の確認する30%

理想的な達成レベルの目安

インプラント周囲組織・表面構造学特論では最低70%以上を達成目標とする。